

- における診療録記載支援システムの導入. 第2回日本医療情報学会学術大会, 東京, 2001年11月26日.
- 32) 小林哲夫, 山本幸司, 杉田典子, 安田桂子, 金子進, 吉江弘正: Fc レセプター 遺伝子多型と成人性歯周炎重篤度との関連. 第44回春季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2001年4月25日, 日本歯周病学会会誌, 43: 79, 2001.
- 33) 田井秀明, 遠藤基広, 島田靖子, 郷江美玲, 織間可寿子, 小林哲夫, 山崎和久, 吉江弘正: 炎症性サイトカイン (IL-1) 遺伝子多型と日本人早期発症型歯周炎との関連性. 第44回春季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2001年4月25日, 日本歯周病学会会誌, 43: 81, 2001.
- 34) 両角俊哉, 久保田健彦, 清水国彦, 杉田典子, 小林哲夫, 吉江弘正: 早期発症型歯周病患者の好中球における特異的mRNA発現. 第44回春季日本歯周病学会学術大会, 新潟, 2001年4月26日, 日本歯周病学会会誌, 43: 145, 2001.
- 35) 山本幸司, 小林哲夫, 杉田典子, 金子進, 安田桂子, 吉江弘正: 全身性エリテマトーデス及び歯周炎患者におけるFc R遺伝子多型解析. 第44回秋季日本歯周病学会学術大会, 岡山, 2001年10月18日, 日本歯周病学会会誌, 43: 101, 2001.
- 36) 小林哲夫, 奥田一博, 吉江弘正: 侵襲性歯周炎患者に再生治療を行った一症例. 第44回秋季日本歯周病学会学術大会, 岡山, 2001年10月19日, 日本歯周病学会会誌, 43: 188, 2001.
- 37) 奥田一博, 小林哲夫, 清水国彦, 布川寧子, 網塚由美, 吉江弘正: GTR法を外科的歯内療法に応用した症例. 第115回日本歯科保存学会秋季大会, 福岡, 2001年11月10日, 日本歯科保存学会雑誌, 44: 202, 2001.
- 38) Yasuda, K., Sugita, N., Yamamoto, K., Kobayashi, T. and Yoshie, H.: Seven single nucleotide substitutions in human Fc receptor IIB gene. 第31回日本免疫学会総会学術総会, 大阪, 2001年12月11日, 日本免疫学会総会・学術集会記録 31: 38, 2001.
- 39) 金子進, 山本幸司, 小林哲夫, 杉田典子, 吉江弘正: 日本人歯周炎患者における Fc R 遺伝子多型の解析. 第31回日本免疫学会総会学術総会, 大阪, 2001年12月11日, 日本免疫学会総会・学術集会記録 31: 39, 2001.
- 40) 田井秀明, 島田靖子, 遠藤基広, 小林哲夫, 山崎和久, 吉江弘正: 早期発症型 (侵襲性) 歯周炎における新たなIL-1遺伝子多型の解析. 第31回日本免疫学会総会学術総会, 大阪, 2001年12月12日, 日本免疫学会総会・学術集会記録 31: 182, 2001.
- 41) 島田靖子, 田井秀明, 遠藤基広, 小林哲夫, 山崎和久, 吉江弘正: 早期発症型 (侵襲性) 歯周炎におけるTNFレセプター 1型及び2型遺伝子多型の解析. 第31回日本免疫学会総会学術総会, 大阪, 2001年12月12日, 日本免疫学会総会・学術集会記録31: 185, 2001.

#### 【研究会発表】

- 1) 杉田典子, 小林哲夫, 山本幸司, 金子進, 安田桂子, 吉江弘正, 伊藤 聡, 長谷川 尚, 黒田 毅, 成田一衛, 中野正明, 下条文武: SLE・歯周炎感受性とFc R遺伝子多型. 第1回新潟ゲノム医学研究会, 新潟, 2001年6月30日.

#### 【受賞】

- 1) Kobayashi, T., Ito, S., Yamamoto, K., Hasegawa, H., Sugita, N., Kuroda, T., Kaneko, S., Narita, I., Yasuda, K., Nakano, M., Gejyo, F. and Yoshie, H.: Fc Receptor Polymorphisms in Systemic Lupus Erythematosus and Aggressive Periodontitis. The second place of award in the poster competition at Modern Periodontology, Shonan, June 30-July 2, 2001.

#### 【その他】

- 1) 加藤一誠: 「ためしてガッテン<そうめん>におけるそうめんの咀嚼と嚥下のX線TVデータ提供および解説」. NHK, 2001年8月1日.
- 2) 荒井良明, 加藤一誠: 「うじきつよしのワンダーポケット<お煎餅>における煎餅の咀嚼に関するX線TVデータ提供」. テレビ新潟21, 2001年9月28日.

### 分子細胞医学専攻 シグナル伝達講座 細胞薬理学分野

#### 【論文】

- 1) Kawase, T., Okuda, K., Momose, M., Kato, Y., Yoshie, H. and Burns, D. M.: Enamel matrix derivative (EMDOGAIN) rapidly stimulates phosphorylation of the MAP kinase family and nuclear accumulation of smad2 in both oral epithelial and fibroblastic human cells. J. Periodont. Res., 36(6): 367-376, 2001.

#### 【商業誌】

- 1) 奥田一博, 川瀬知之, 吉江弘正: エムドゲインの現状と未来. 歯界展望, 99(3): 505-516, 2002.

## 【研究成果報告書】

- 1) 川瀬知之：歯周組織におけるCGRP受容体サブタイプとその特異的細胞内情報伝達系の解明．日本学術振興会科学研究費補助金研究，基盤研究（C）2）課題番号 12671803, 2002年.
- 2) 片桐正隆，土持 眞，川瀬知之：in situ ハイブリダイゼーション法による口腔癌PTHrP遺伝子発現の検討．日本学術振興会科学研究費補助金研究，基盤研究（C）2）課題番号 12671972, 2002年.

## 【学会発表】

- 1) 川瀬知之，奥田一博，吉江弘正：エムドゲイン中の主要生理活性物質はTGF- $\beta$  である．第44回日本歯周病学会春季学術大会，日本歯大新潟，新潟，2000年4月24-26日.
- 2) 川瀬知之：エナメル基質蛋白抽出物はp21<sup>WAF1/cip1</sup>の発現誘導を介して特異的に口腔上皮細胞の増殖を抑制する．第52回日本薬理学会北部会，北海道大，札幌，2001年10月6日.

## 【研究会発表】

- 1) 川瀬知之：エムドゲインは基剤か薬剤か？ 第24回日本歯周病学会若手研究者の集い，日本歯科大新潟，新潟，2001年4月24日.
- 2) 土持 眞，原田美樹子，斎藤英一，川瀬知之：ヒト歯肉由来ケラチノサイトの分化に及ぼす副甲状腺ホルモン関連蛋白（PTHrP）の影響：cDNAマイクロアレイを用いた検討．先端研究センター（HRC），文部省ハイテク・リサーチ・センター整備事業，平成13年度第2回報告会，日本歯科大新潟，新潟，2002年2月19日.